

財務専門官試験

採用スケジュール ※平成31年4月採用の場合

4月	6月	7月～8月						10月
3/30 ～ 4/11	6/10	7/3	7/5 7/6	7/11 7/12	7/23 ～ 8/20	8/21	8/21 8/22	
インターネット申込み	一次試験	一次合格発表	業務説明会 (一次合格者対象)	二次試験	職場訪問	最終合格発表	採用面接	採用内定

試験種目

試験	試験種目	解答題数 解答時間	配点 比率	内容
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	40題 2時間20分	2/9	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験 知能分野27題(文章理解①、判断推理③、数的推理⑤、資料解釈③) 知識分野13題(自然・人文・社会⑬(時事を含む。))
	専門試験 (多肢選択式)	40題 2時間20分	3/9	財務専門官として必要な専門的知識などについての筆記試験 必須問題 次の2科目28題 憲法・行政法、経済学・財政学・経済事情 選択問題 次の8科目48題(各6題)から2科目12題出題 民法・商法、統計学、政治学・社会学、会计学(簿記を含む。)、経営学、英語、情報数学、情報工学
	専門試験 (記述式)	1題 1時間20分	2/9	財務専門官として必要な専門的知識などについての筆記試験 次の5科目のうち1科目選択 憲法、民法、経済学、財政学、会计学
第2次試験	人物試験		2/9	人柄、对人的能力などについての個別面接 (参考として、性格検査を実施)

(注) 第1次試験合格者は、「基礎能力試験(多肢選択式)」と「専門試験(多肢選択式)」の成績を総合して決定します。

「専門試験(記述式)」は、第1次試験合格者を対象に評定した上で、最終合格者決定に当たり、他の試験種目の成績と総合します。

専門試験（多肢選択式）の比較

専門科目	財務専門官	国税専門官	国家一般職 (行政)	某県庁 (地上) ※4
憲法	必須科目 14	6	5	4
行政法			5	5
行政学	-	-	5	2
民法	6	必須科目 8	10※1	4
商法			-	-
刑法	-	-	-	2
労働法	-	-	-	2
経済学	必須科目 14	6	10※2	9※5
財政学		6	5	3
経済事情		-	-	-
統計学	6	必須科目	-	-
会計学	6	8	-	-
経営学	6	6	5	2
政治学			5	2
社会学	6	6	5	-
社会事情	-	-	-	-
社会政策	-	-	-	3
国際関係	-	-	5	2
心理学	-	-	5	-
教育学	-	-	5	-
英語	6	6	10※3	-
商業英語	-	6	-	-
情報数学	6	6	-	-
情報工学	6	6	-	-
出題数	76	70	80	40
解答数	40	40	40	40

- ※1 民法（総則及び物権）、民法（債権、親族及び相続） それぞれ5問
- ※2 ミクロ経済学、マクロ経済学 それぞれ5問
- ※3 英語（基礎）、英語（一般） それぞれ5問
- ※4 科目別出題数は年度により変動する場合があります。
- ※5 経済学には経済政策（1題）を含みます。

特筆すべき点は、

財務専門官試験においては、憲法・行政法で14問、経済学・財政学・経済事情で14問が必須科目となっていることです！

「必須問題数が多くて大変そう...」と思うかもしれませんが、

そんなことはないんです！！

公務員試験を受験するほとんどの人が、複数の試験を併願しているのではないのでしょうか。

そこで、左の表には、財務専門官のほかにも、国税専門官、国家一般職、さらに某県庁（地上）の専門科目を並べています。

よく見ていただければ、財務専門官採用試験の必須科目が他のいずれの試験にも出題されていることに気づいていただけるはずです！

すなわち、財務専門官試験の必須科目は他の公務員試験の学習と同じ過程で対策が可能です！

また、財務専門官試験では会計学を選択しなくても、民法・商法、政治学、社会学など他の試験で出題される科目から2科目を選択することができます！